

地籍問題研究会

第17回定例研究会のお知らせ

地籍問題研究会では、このたび、第17回定例研究会を下記の日程にて開催するはこびとなりました。

■ **日時** 平成28年11月26日(土)13:00～

■ **会場** 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー3階1031教室(東京都・千代田区)

■ **テーマ** テーマ 公図の源流をさぐる

協力: 日本土地家屋調査士会連合会、東京土地家屋調査士会

■ 12:30-13:00 受付

■ 13:00-17:20 地籍問題研究会・第17回定例研究会

13:00-13:05 主催者挨拶

國吉正和氏(当研究会幹事)

13:05-13:10 来賓挨拶

亀田浩一郎氏(明治大学法学部准教授)

基調講演

13:10-14:10 「大和国における地租改正地引絵図の作成経緯と地割に関する諸問題」

報告者 土平博氏(奈良大学文学部地理学科教授)

(休憩)

14:20-15:20 「公図の沿革と現代的意義」

報告者 藤原勇喜氏(藤原民事法研究所代表、当研究会監事)

(休憩)

会員からの研究報告

15:30-16:00 「江戸時代から現代への地籍図及び土地境界の変遷 —滋賀県大津市を事例として—」

報告者 西村和洋会員(土地家屋調査士(滋賀県土地家屋調査士会))

16:00-16:30 「地租改正当時の富山県」

報告者 砂道章会員(土地家屋調査士(富山県土地家屋調査士会))

16:30-17:00 「公図における信頼性の検討」

報告者 山田榮冶会員(土地家屋調査士(秋田県土地家屋調査士会))

17:00-17:15 質疑

17:15-17:20 諸連絡

◆傍聴について◆

本研究会につきましては、一般傍聴は資料代を含めて3,000円をいただきます。